

# 生産性向上支援訓練の活用事例

<組織マネジメント分野>

## 【利用事業所】

大分デバイステクノロジー株式会社



### 訓練受講のきっかけ



### 要望



### 訓練の実施



### 受講した感想

昨年度も生産性向上支援訓練を受講し、各人の能力の向上、自分の役割を理解、組織として成果を上げることを目指すうえで、生産性向上支援訓練は、実務に結びついた社員教育体系拡充のため、今年度も引き続き、高齢・障害・求職者雇用支援機構担当者からの案内を受け、受講した。

- 各人の能力の向上
- 自分の役割の理解
- 組織として成果を上げる

- 【訓練コース】 「成果を上げる業務改善」
- 【訓練時間】 3時間×2日（計6時間）
- 【対象者】 中堅社員
- 【主な内容】 業務を改善する目的とは  
業務改善の取組みとその成果  
対策の立案・実施 等

## 受講者の声

(受講者 A)

- 今回の訓練で組織として業務改善をするために、いきなり難しい大きな改善をしようとせず、簡単で小さなことから手を付けてみることも大事だということを学びました。
- 業務改善を進めるために、「現状把握」→「改善のアイデアを出す」→「改善の実施」の流れで行い、実施した結果、どのような効果があったのなるべく定量化して評価することが大事だということを学びました。
- 自部門の業務についても手間を減らし、効率よく行えるよう改善意識を持って取り組みたいと思います。
- 他部門の業務改善に対してシステム部門として積極的にかかわり、気が付いた改善案があれば提案していきたいと思っています。



## 事業主の声

幅広いカリキュラムで効果も期待できることから、実務に結びついた社員教育体系拡充のため導入を決めました。高品質な製品を製造していくうえで大変重要である、社員一人ひとりの品質の向上についての意識を高め、社員一体となって具体的改善を図り、生産性の向上につなげていきたいと考えています。